

被災地方言会話集

— 宮城県東松島市 —

<自由会話>

自由会話の概要

収録地点 宮城県東松島市宮戸

収録日時 2012（平成 24）年 7 月 14 日

収録場所 宮城県東松島市宮戸字二ツ橋 宮戸小学校仮設住宅

話題 【震災のときのこと】

話者

A	男	1934（昭和 9）年	（収録時 78 歳）	[B の親戚]
B	女	1949（昭和 24）年	（収録時 63 歳）	[A の親戚]

話者出身地

A	東松島市宮戸 ※10 歳まで神奈川県横浜市
B	東松島市宮戸

【震災のときのこと】

話し手

A 男 1934 (昭和 9) 年 (収録時 78 歳)

B 女 1949 (昭和 24) 年 (収録時 63 歳)

001A : ジシン ンダガーット キタツチャ。
地震 ダガーって きたよね。

002B : ンー、ナカ° ガッタネ、ンー。
うん、長かったね、うん。

003A : アー、ンダー。アンドギー ホラ Bチャン ドゴニ イダндаガ。
ああ、だから。あの時 ほら Bちゃん どこに いたのか。

オレワ ミセニ イダノッシャ。マ ダッテホラ、X1、X1 [1] ワ
俺は 店に いたんだよ。ま だってほら、×、X1 は

オモヤノホーニ。
母屋の方に。

004B : ンー。
うん。

005A : ダガラ モー アノシュンカン、オレ、オレトシテワ ツナミクルナート
だから もう あの瞬間、俺、俺としては 津波くるなあと

オモッテ。
思って。

006B : ンー ダヨネ。(A ンー) ツナミッテユーノワ スグキタヨネ。
うん だよ。 (A うん) 津波っていうのは すぐきたよね。

コンナイ ナガインダモノ。ツナミワ ゼッタイクドッテ (A ンー)
こんなに 長いんだもの。津波は 絶対くるぞって (A うん)

東松島市 自由会話

ユッタノネ。ゼッタイ (A タダ) クルガラ (A シー) ニゲッドッテ。
言ったのね。絶対 (A ただ) くるから (A うん) 逃げるぞって。

007A : タダ ホラ、ジ、アノー、ジカンガ チリテキニ ホラ アノー
ただ ほら、×、あの、 時間が 地理的に ほら あの

ナカ° カッタッチャ。(B シー、シー) オレノホーサ クニニ。 シデ、
長かったよね。(B うん、うん) 俺の方に 来るのに。それで、

オレナンカ モー ツナミ コンナイヨーニ ミセノ シャッタ シメダリサ、
俺なんか もう 津波 来ないように 店の シャッター 閉めたりさ、

アドー カーチャン ホラ X2ノ [1] (B シー) クルマサ ココマデ
あと 母さん[が] ほら X2の (B うん) 車で ここまで

ヒナンシタアト、オモヤマデイッテ オモヤノ ブレーカーサケ° タリサ
避難した後、 母屋まで行って 母屋の ブレーカー下げたりさ

(B シー) アト、ホレ、モジダショーノ リックダノナ。 ホイデアノ、
(B うん) あと、ほれ、持出し用の リュックだのね。それであの、

{笑} アー、ミナ ヨシテ クルマサ ツンデアンダオン。
{笑} ああ、みんな 寄せて 車に 積んであるのだよ。

008B : キョネーン、ソノマエノトシノ (A シー アー) チリーノ ジシンノ アレデ
去年、 その前の年の (A うん ああ) チリの 地震の あれで

ヒナンシテッデ イワレタトギワ、ミンナモッテニゲタンダゲッド。
避難してって 言われた時は、 みんな持って逃げただけど。

009A : ココサ キタンダヨナ。
ここに 来たんだよな。

010B : シー。ココニ ヒナンシタンダケド。
うん。ここに 避難したんだけど。

011A : ガッコーノ タイクカンサ キタンダ。ンダ。
学校の 体育館に 来たんだ。そうだ。

012B : コンカイノー、アレワー、モー、ジシंगा アンマリニモ ナカ° ガッタガラ、
今回の、 あれは、 もう、地震が あんまりにも 長かったから、

ニゲットワ イーンダゲド、ホーユー イママデ ヨーイシテダモノ ゼンブ
逃げるのは いいんだけど、そういう 今まで 用意していたもの[が]全部

アダマカラ パーッテ {笑} ナグナッテ。 {笑} イドウド、イヌド、イヌノ
頭から パーって {笑} なくなって。 {笑} ××××、×××、犬の

ミズトガ、 (A ンー) タベモノトガ ソーユーモノモッテ、モー
水とか、 (A うん) 食べ物とか そういうもの持って、もう

ニゲルッテユーゴドシカ アタマニ (A アー) ナガッタガラ。デ
逃げるっていうことしか 頭に (A ああ) なかったから。それで、

コゴニツイタドギワ サンバンメグライダッタカナ。 {笑} (A アー
ここに着いたときは 3番目くらいだったかな。 {笑} (A ああ

ンデ ハヤガッタ~~ンダ~~) ンー ハヤガッタノ。
それで 早かった~~んだ~~) うん 早かったの。

013A : オライデー アノー、ホラ、X2 スグ アノ ワゴンシャデキテ、
俺の家で あの、 ほら、X2 すぐ あの ワゴン車で来て、

(B ンー) ンー イッソ アニサンガ、アニサマバ
(B うん) うん ××× ×××××、兄様を

ノシエテドッテツッテキテ (B ンー ンー) アー ジャ タノムカラッテ。
乗せて行くぞって言ってきて (B うん うん) ああ では 頼むからって。

ンデー、ソノー ウジノ ホラ グルワネ (B ンー) アノ グルワー
それで、その 家の ほら 家の周辺ね (B うん) あの 家の周辺

東松島市 自由会話

カタズゲダリ、{笑} アト シャッターシメダリサ、ナンボカクッド
片づけたり、{笑} あと シャッター閉めたりさ、どれくらいか[津波が]くるの

カクゴシタカラ (B ンー) イチオ ガンガグ [2] シタワケサ。
覚悟したから (B うん) 一応 対処したわけさ。

(B ンー) アノ ネー。(B ンー) エー スタッケ ホラ アノー
(B うん) あの ねえ。(B うん) ええ そうしたら ほら あの

アスコノ スイモンノトゴニ イダッチャ、ショーボーシサンガ。(B ンー)
あそこの 水門の所に いたよね、 消防士さんが。(B うん)

アト スタッケ X3 [3] ダッタカスネ、 オッチャーン オナガーサ
あと そうしたら X3 だったか知らない[が]、おじさん 女川に

ツナミ ロクメートル キダーカラ ニゲタホーガイドーツテ (B ンー)
津波 6メートル きたから 逃げたほうがいいぞって (B うん)

ンデ ソレツテ ニゲテ ソンドキワ モー、ホレ コノ
それで それ[行け]と 逃げて その時は もう、ほれ この

ケータイデンワガラ コ、コ、ラジオモツテナ。アドー ヨズリー
携帯電話から ×、×、ラジオもってね。あと 夜釣り

スギダッタデシヨ、オレ。(B ンー) ンアー、サ、オレ、ヨズリスギデ オレ
好きだったでしよ、俺。(B うん) ×××、×、俺、 夜釣り好きで 俺

スギノカミツ ヨグユワレタンダ、{笑} (B スギノカミ) スギ、
スキの神 [4] って よく言われたんだ、{笑} (B スキの神) ××、

スギナノコエテ スギノカミツワレテンダダヤ。ホンデアノ チャントソノ
好きなの超えて スキの神って言われていたんだよ。それであの ちゃんとその

センモンノ シキダシ、ホッチ ゼンブ ハイッテンダオン、(B エー) アノ
専門の 引出、 そっち 全部 入ってるんだよ、(B ええ) あの

東松島市 自由会話

フネノメンキョシヨモ、(B シー) ンダガラ ノコッタノ。コンド シキダシ
船の免許証も、(B うん) だから 残ったの。今度 引出

アノ アゲダラサ コンドホラ、アドホラ へ、ランプ、(B シー)
あの 開けたらさ 今度ほら、あとほら ×、ランプ、(B うん)

ヨズリニツカウツチャ (B シー シー) アダマノ。ヘッドランプ ミナ。
夜釣りに使うでしよ (B うん うん) 頭の。ヘッドランプ みんな。

ンダカラ シーット タスカッタ~~ンダ~~ コンド。(B へー) ソノシキダシ
だから とても 助かったんだ 今度。(B へえ) その引出

ヒドツ アゲダツケ、ヨ、ヨズリノモノ ミンナ へーッテルンダモノ。{笑}
一つ 開けたら、×、夜釣りのもの みんな 入っているんだもの。{笑}

ホラ メンキョシヨ、フネノメンキョシヨダ、ンダガラ コレモ
ほら 免許証、船の免許証ね、だから これも

ナガサンナカッタ。デ、アト カメラ。
流されなかった。それで、あと カメラ。

014B : アン、アンナヌヨーイシテダノヌ、ナンニモモタネデ サットヌゲテ。{笑}
×××、あんなに用意してたのに、何にも持たないで さっと逃げて。{笑}

015A : ンダ、デモー、マズー、アノー、クル、シエンニ キタシト、イッパイ
うん、でも、まず、あの、××、支援に 来た人、いっぱい

キタゲッドナ、(B シー、ダネー) ガイコクカラモ ズイブン
来たけどな、(B うん、そうだね) 外国からも たくさん

キタゲッド。ンデモー コゴノ ヒナンジョワ アガルイヨーナ.....ダオナ。
来たけど。それでも この 避難所は 明るいような.....だよね。

(B シー、ダネー、ナグナツタヒト) ソー。シー、ケツキョク アレワホレ
(B うん、そうだね、亡くなった人) そう。うん、結局 あれはほれ

トクデワ ミウチナクナッテッケドモ、ソノ トナリキンジョ、ミジカデ
遠くでは 身内亡くなっているけども、その 隣近所、 身近で

ナグナッタシト イナイガラ。(B ンダネ) ソ、ソノブン スグワレタノサ。
亡くなった人 いないから。(B そうだね) ×、その分 救われたのさ。

(B ンーンー、ダヨネー) ンデネケレバ アンナサ ヨンカゲツ
(B うんうんうん、そうだよ) そうでなければ あんなさ 4カ月

タイクカンニイテ、{笑}
体育館にいて、 {笑}

016B : ナンノシギリモナグテ、{笑} シギリモナニモナクテ、(A ンー) ネ、ネー。
なんの仕切りもなく、{笑} 仕切りも何もなくて、(A うん) ね、ねえ。

ホントニ モー。(A ンー) アゲッピロナ
本当に もう。(A うん) 開けっ広げな

017A : ミナ オープンニシテナー。
みんな オープンにしてね。

018B : ンー。ホシテ ミンナデ イッショニ (A カエッテ) ゴハンオ クッテ、
うん。そうして みんなで 一緒に (A かえって) ご飯を 食べて、

(A ンデ、 ンダヨナ、 キョードーセーカズ) クッタリノンダリ。
(A それで、そうだよ、共同生活) 食べたり飲んだり。

019A : サイゴマデ ノゴッタノ ナンニンダッケカ。
最後まで 残ったのは 何人だっけ。

020B : キュ、ココニイルヒトダチダケ。(A キュ、ア、ソスト キューケン)
××、ここにいる人たちだけ。(A ××、ア、そうすると 九軒)

キューケン、(A ア、キューセタイ) ンー、(A アー) キューセタイ。
九軒、(A あ、九世帯) うん、(A アア) 九世帯。

東松島市 自由会話

021A : ンデ ココワ ケッキョク サド [5] ノシト オーインダヨナ。
それで ここは 結局 里[浜]の人 多いんだよね。

(B ン一、ダネ一) サド、 ムロハマ [5] イッケンガ。ナ一、アノ一
(B うん、そうだね) 里[浜]、室浜 一軒か。 ねえ、あの

(B ン一) X4 [6] イッケンダッチャ。アト、ツキハマ [5]、
(B うん) X4 一軒だよ。 あと、月浜、

022B : アト、ツキハマガ (A X5 [6] サント) ニゲン、ニゲン。(A ア一)
あと、月浜が (A X5 さんと) 二軒、二軒。(A ああ)

X6 [6] サン。

X6さん。

023A : X6 ト。(B ン一) アト アンタエノ オンチャン。ナ、 アノ X7 [6]。
X6 と。(B うん) あと あなたの家の おじさん。 ねえ、あの X7。

024B : X7 サント (A ト) X8 [6] サン。
X7さんと (A と) X8 さん。

025A : X8サン。ンダガラ ホーボーカラ アツマッテデナ。(B ン一、
X8さん。そうだから 方々から 集まっていますね。(B うん、

ココワネ) ンデ サイショホラ オーハマ [5] クチョーサンツテ
ここはね) それで 最初ほら 大浜区長さんって

キテタヨネ、ココノカセツ。(B ン一 ン一) ンダカラ クチョーデネク
来てたよね、ここの仮設。(B うん うん) そうだから 区長ではなく

ホラ、ミヤドショーガッコウカセツヌ シテケロツツテ。(B ン一)
ほら、宮戸小学校仮設の[長を] してくれって言って。(B うん)

{笑} ンダガラ、 ンダガラ ニジューノ ダイヒョーニ

{笑} そうだから、 そうだから 二重の 代表に

東松島市 自由会話

ナッテルワケデスナ、(B ン一) オーハマクチョート ホラ、カセツノ。
なってるわけですね、(B うん) 大浜区長と ほら、仮設の。

026B : ア一、カセツノ。
ああ、仮設の。

027A : ア、サンジューカ、アト コミュニティーノナ。
あ、三重か、 あと コミュニティーのね。

028B : ン一、サンジューニモ ヨンジューニモ。
うん、三重にも 四重にも。

029A : ソレデ、コミュニティ、サンジューダッテユンダ。ン一ダガラ アノ
それで、コミュニティ、三重だっていうんだ。 そうだから あの

アノ ス、ココデ ホラ ホンブ タチアゲタドギサ、ア一 デンワモ
あの ×、ここで ほら 本部 立ち上げたときさ、ああ 電話も

ツージネーベッチャ。
通じないだろう。

030B : ンダネ一。(A ネ一 ジャー) ナニモ アンドギ。ア一。
そうだね。(A ねえ じゃあ) なにも あの時。 ああ。

031A : ア一。ホンートニ アレワ レンラクツカネアーツノワ ダイブナ。
ああ。本当に あれは 連絡つかないというのは だいぶね。

032B : ガイブカラモ、(A ン一 コナイシナ) ナンノ レンラグモナイシ。
外部からも、(A うん こないしな) 何の 連絡もないし。

033A : デモアレ、アノ、イチバーンサイショ、ドコダツケヤ アイチケンダツケヤ、
でもあれ、あの、一番最初、 どこだっけか 愛知県だっけか、

アレ ニッセキド ジエータイトキタドギ。
あれ 日赤と 自衛隊と来た時。

034B : アー キタネ。
ああ 来たね。

035A : ヘリデナ。(B シー、シー) アン アンドギワ、アン アンドギワ
ヘリでね。(B うん、うん) ×× あの時は、 ×× あの時は

ナニデ、キューゴハンデ キタンダッキャ。
何で、 救護班で 来たんだよね？

036B : キューゴハンデ キタンダヨネ。(A ンダヨナ、 グアイワルイ)
救護班で 来たんだよね。(A そうだよね、具合悪い)

ヘリデ オツタンダカラ。
ヘリで 降りたんだから。

037A : グアイワル シ、シク シトオ ハコンデモラッタカラ。
具合悪い ×、×× 人を 運んでもらったから。

038B : ハゴンデモラツタリ、(A ンデ、 ソ) シンサツオ ウゲタリネ。
運んでもらったり、(A それで、×) 診察を 受けたりね。

039A : ンダナ。(B シー) ンデ アノドギワ アノー、ミナ タッ、アノ
そうだね。(B うん) それで あの時は あの、みんな ××、あの

キモチモ タスカッタノサ。トユエノワ (B シー) ホラ ミッカオキニ
気持ちも 助かったのさ。と言うのは (B うん) ほら 三日おきに

キテケルツタツチャ。 アノ、(B シー、センセーラーガネ) ンデ アノー
来てくれると言ったよね。あの、(B うん、先生たちがね) それで あの

ホラ カグクカラ オンナノスタジ フタリズツガ アノ ホラ、
ほら 各区から 女の人たち 二人ずつが あの ほら、

イリョー テツダイ スルノ。(B アー、ソーソーソー) アーンドギ ミンナ
医療[を] 手伝い するの。(B ああ、そうそうそう) あの時 みんな

東松島市 自由会話

ズーット イッキニ オジテキテダッチャ [7]、イッカイデナー。カエッテ
ずっと 一気に 降りてきていたんだよね、一回でね。 かえって

マチジカンデ ツカレテンノ。 {笑} ナランデ ダメダガラ。
待ち時間で 疲れてるの。 {笑} 並んで だめだから。

040B : ダガラ、(A ンー) ズーイブン グアイワルイスタズモ
だから、(A うん) ずいぶん 具合悪い人たちも

イルモンダナヤト (B ンダナ) オモッタヨネ。
いるものだと (B そうだね) 思ったよね。

041A : ソレ チガウ。 (B ンー) コンマエ キータツケサ、アトカラ
それ 違うの。 (B うん) この前 聞いたんだけど、あとから

ワカッタダゲッド、クスリ コンナニ モッテルワケサ。 {笑} ホラ
わかったんだけど、薬 こんなに 持ってるわけさ。 {笑} ほら

ダケッド コイツ ナグナット シンパイダツツテナ、ラ。X9 [6] サンナンカ
だけど これが 無くなると 心配だって言って、×。X9 さんなんて

ココデ ハズカレテンダワ。 {笑} コ、アー ダイジョーブデスカラ
ここで はじかれてるんだ。 {笑} ×、ああ 大丈夫ですから

ミッカゴニ キマスカラ。ナンニジブンノ クスリ アルンダッテナ。
三日後に 来ますから。何日分の 薬 あるんだってね。

(B ンー) ンデ アントキモ ホラ アスコデ カルテ スク° ツクッテ、
(B うん) それで あの時も ほら あそこで カルテ[を]すぐ作って、

(B ンー) ンダカラ ミンナ ホレ ケズアズハカッター、テワケシタ。
(B うん) そうだから みんな ほら 血圧計ったり、 手分けした。

オレナンカ ダイヒョーダカラ イッツモ サイゴダ、イーデスカ
俺なんか 代表だから いつも 最後だ、いいですか

東松島市 自由会話

イマカ、アー ドーゾーナンテ。オレ ケズアズノクスリオ ノンダガラ。
今か、 ああ どうぞなんて。 俺 血圧の薬を 飲んだから。

(B シー、ダネ) シー チャ、ミンナネー アノー

(B うん、そうだね) うん ××、みんなね あの

042B : デモ アンドギワ モー (A イリヨ、ン) ケズアズノクスリ ノムゴドモ
でも あの時は もう (A ×××、×) 血圧の薬 飲むことも

ワスレデダワネ。 {笑} アンマリノ アレデ。
忘れてたわね。 {笑} あんまりの あれで。

043A : デモ ソノアドー ホラ アノ、ミヤド ゼンメツダッテ ホレ
でも そのあと ほら あの、宮戸 全滅だって ほれ

ヘリトンデ (B シー) ユワレデ、アノ ゼンゼン ホラ モー
ヘリ飛んで (B うん) 言われて、あの 全然 ほら もう

レンラクツカネガッタ。アレ ヒロシマガ、アノ ゴエーカン、 (B シー)
連絡つかなかった。 あれ 広島か、 あの 護衛艦、 (B うん)

ニ、ニソーキタッタッチャ。クレートアシガラ [8] ダッキヤー (B アー
×、二艘来ていたよね。 「くらま」と「あしがら」だっけな。 (B ああ

ミズー) アーンドギワー オレ ホンブニイデ ホットシタド。ンダッテ
水) あの時は 俺 本部にいて ほっとしたぞ。だッテ

(B シー) ナンデモ ミナ ユツエクダサイー ナンテナ。ンデ アノー
(B うん) なんでも みんな 言ってください なんてね。それで あの

ムセナー、グンカント チョ、ゴエーカンガ チョクセツ ツナイデクレテヤ。
無線、 軍艦と ××、護衛艦が 直接 つないでくれてね。

ホレ、コレ ア アイズ ヨッガゴガ、アー アノ スグアトー モーフダノー、
ほれ、これ × あいつ 四日後か、 ああ あの すぐあと[に]毛布だの、

東松島市 自由会話

(B キタネ) カンズメダノ ミズダノツテ。(B ナカ°クズモ キタネ)
(B 来たね) 缶詰だの 水だのツテ。(B 長靴も 来たね)

アー、イロンナノガ キタンダヨナ。(B シー、シー ヤッパリ) ヤッパ
ああ、いろんなのが 来たんだよね。(B うん、うん やっぱり) やっぱり

ウジノホーワ、ミ ホカサ アンマリ オッキク ユワネゲットモ。{笑}
うちの方は、× 他に あんまり 大きく 言わないけれど。{笑}

 (B リクガ) クル、ナ。
 (B 陸が) 来る、ね。

044B : シー。オガダメダラバ (A ンデ) {笑} ウミガラツテ。
うん。丘 [=陸が] だめならば (A それで) {笑} 海からツテ。

045A : ク、クローシネガッタゲットモ ホラ。コイズ アノ、
×、苦労しなかったけども ほら。こいつ[奥さん] あの、

リョーリスルシトタチガ ツカレテ オライノオッカ、ホンダモ ホレ、アノ
料理する人たちが 疲れて 私の家の女房、 そうだもの ほら、あの

オニギリ ヌク°ン、ナーニー ヨケーナゴトステ、スタック
おにぎり 握る、 何 余計なことをして、そうしたら

ツカレルダノ (B シー) ヘリデ ハンソーシテモラツタチャー。
疲れるだの[となつて] (B うん) ヘリで 搬送してもらったんだよ。

ンデ コンド ドコサ イッダカ ワカンネンダ。{笑} ホラ
それで 今度 どこに 行ったか わからないんだ。{笑} ほら

レンラクトレネーガラ。{笑}
連絡取れないから。 {笑}

046B : ヨゲーナゴドツテ ユーゲンド、ヤッパリ ヤンナゲネードオモツテネ、
余計な事ツテ いうけれど、やっぱり やらなければならぬと思つてね、

東松島市 自由会話

ミンナノ セワニバリ (A ソーソー) ナッテランナイガラ
みんなの 世話にばかり (A そうそう) なってられないから

ヤンネゲネードオモッテ イッショーケンメーヤッタンダベツケドモ、
やらなければならないと思って 一生懸命やったんだらうけども、

ヤッパリ アーユーバワイダガラ カラダガ オイツイテ
やっぱり ああいう場合だから 体が 追いついて

イガネグナッタンダオンネ。
いかなくなったんだらうね。

047A : ホイデ アノ、アレ ガッコーノ ナンツッタツケヤー、ヨーゴノセンセー、
それで あの、あれ 学校の 何と言ったかな、 養護の先生、

X10 [9] 、X10、ン、X10
××、 ××、ン、X10

048B : X10センセー (A X10 センセーツケヤ) ツテユッタカナ
X10先生 (A X10 先生かな) って言ったかな

049A : アノシト ホラ ヨーゴノ ナンダガ ナニガワ アンダケッドモ、 ミンナ
あの人 ほら 養護の 何だか 何かは あるんだけれども、みんな

カンゴフサント マチガッテサ、(B アー) カー センセーモ
看護婦さんと 間違っさ、(B ああ) ×× 先生も

ツカレテンダワ コンダ。{笑} イヤイ、キョートーサンニ ユワレタンダ、
疲れてるんだわ、今度。{笑} ×××、教頭さんに 言われたんだ、

キョートーセンセーニ。カイチャーサン、ア アノ カンゴフトマチガッテネ
教頭先生に。 会長さん、 × あの 看護婦と間違っね

ナンダリカンダリ (B ン) ユワレンデスーナンテ。{笑} ケッキョク
なんだりかんだり (B うん) 言われるんですなんて。{笑} 結局

東松島市 自由会話

ホラ ミンナ チカ° ウンダッチャー。(B ンー) ホンダガラ ホラ
ほら みんな 違うんだよね。(B うん) それだから ほら

オイシャサンサデモ イッテルヨーナカンカクデナ、{笑}
お医者さんにでも 行ってるような感覚でね、{笑}

ナニ イネーノカナンテ。カ、コマッテ、アノシトモ シトイーカラナー、
なに いないのかなんて。×、困って、あの人も 人がいいからね、

ンダガラ {笑} ホイ、ホイユーイミデワ {笑}
そうだから {笑} そう、そういう意味では {笑}

050B : オイ、オイシャサンニ イッテルカンカク。{笑} イシャダネード
××、お医者さんに 行ってる感覚。{笑} 医者じゃないぞ

(A ンー) {笑} ッテユエバヨカッタ。{笑}
(A うん) {笑} って言えばよかった。{笑}

宮城県東松島市方言会話集（自由会話）注記

〔1〕 X1・X2

Aの親族。

〔2〕 ガンガグ

話者によると、「散らかったものをまとめる/集める/片づける」などの意。

例) 風が強いので、船をガンガグする。

岩手県、宮城県、山形県などで「手入れをして用意すること。準備。工面。」などといった意味で使用される（『日本方言大辞典』小学館）。

〔3〕 X3

Aの知り合い。

〔4〕 スキの神

話者によると、「度を越して何かを好きな人のこと」を指すという。

〔5〕 サド・ムロハマ・ツキハマ・オーハマ

宮戸にある集落（区）の名称。

〔6〕 X4・X5・X6・X7・X8・X9

宮戸小学校（仮設）に避難した方々。

〔7〕 オジテキテダッチャ

避難者が区ごとに階を分けて避難していたところ、診察のためにみなが一度に降りてきたということ。

〔8〕 クレートアシガラ

海上自衛隊の護衛艦の名前。「くらま」と「あしがら」。前者は「クレー」と発音されているが、話者への聞き直しを行った際には「くらま」と認識していた。その所属地である「呉」を誤って言っている可能性もある。

〔9〕 X10

宮戸小学校の養護の先生。

宮城県東松島市方言会話集（自由会話）担当者

収録担当者 津田 智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）
小原雄次郎（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 2 年）
林 芸 溱（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）

文字化担当者 津田 智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）